



え とう たつ や
衛 藤 竜 哉

長期休職者とその周りの職員 心のケアは

～快適な職場環境の醸成と
予防対策に努めます～

質

合併から職員の長期休職者がなかなか減らない。さらなる対策は。

答 市長

職員の業務に支障が生じたり、他の職員に大きな負担がかかるほか、職場環境にも悪影響が出ることから、「労働安全対策委員会」で本格的に検討し始めています。休職中の状態把握などのケアはもちろん「慣らし出勤制度」を設けており、復帰可能と判断されれば、「職員健康管理審議会」で復職の決定や必要に応じた職員配置を行うこととしています。

防災体制の確立を

～安全と安心の確保に
全力で努めたい～

質

- ① 消防本部の職員配置は、これでもいいのか。
- ② 消防本部の出動体制を見直すべきでは。
- ③ 消防団の出動体制の早期確立をすべきでは。
- ④ 消防団事務移管は、一から見直しを。

答

消防長・総務部長

- ① 職員数は85名です。本署と3分署で、1日あたり24～25人の初動体制をとっています。
- ② 消防団という強力な組織とさらに連携をとりながら、目的の遂行に努めています。
- ③ サイレン吹鳴の対応は、消防団幹部会議などで検証し、地域住民が安心して暮らせる運用体制を構築していくと考えています。
- ④ 当面の間は引き続き、各支所に方面団・方面隊の消防団事務の一部を残す方向で再検討しています。



平成21年3月に導入した救助工作車



こうじなふみひろ
神志那文寛

質

地域経済を活性化させるために、地元業者を利用し住宅リフォーム工事をを行った住民に、その工事費の一部を行政が助成するという制度を創設してはいかがですか。

答

企画部長

本市の経済対策は、国の施策と歩調を合わせて2度に渡り実施しました。年度末にかけて、良い効果が現れると考えています。

現在ある新築および改築に補助する定住促進事業を、抜本的に見直す方針です。国の二次補正予算の動向を注視し、より効率的な定住促進策の展開を考えます。

住宅リフォーム 助成制度の創設を

く定住対策などを総合的に見直す



リフォーム中の住宅

質

悪臭に対する苦情が依然として絶えません。昨年の臭気調査によってどんな実態が解明され、どのような改善策が見つかりましたか。

質

三重原地域環境対策協議会の開催状況と合意内容、とりわけ「住民・行政・業者」による「協定」成立の見通しはどうですか。

答

市長

住宅地においては、養豚場の豚舎から発する臭気および、産業廃棄物中間処理施設の発酵施設内の臭気が感知される可能性が高いことがわかりました。

この結果を受け、作業回数を増やしての徹底した場内洗浄、これまでの脱臭剤などに加え、新たな菌などの試験的使用、施設開口時間の管理など、創意工夫しながら対策を行っています。

答

市長

協議会は2月、6月、9月に開催し、第3回協議会で、産業廃棄物処理施設の悪臭防止協定書（案）が協議され承認されました。

養豚業者の協定については、県などの指導のもと、素案を策定中です。

三重原付近の 悪臭防止対策は

く今後も最大限の支援を行う